

製品名: アセチル-p53 (Lys382) (7E1) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00772**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | アセチル化 |
| アイソタイプ | IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|----------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | - |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | TP53 |
| 別名 | Cellular tumor antigen p53; Cys 51 stop; Tp53; Tumor protein p53 |
| 遺伝子 ID | 7157 |
| SwissProt ID | P04637 |
| 免疫原 | 標的タンパク質の残基に対応する合成アセチル化ペプチド |

背景

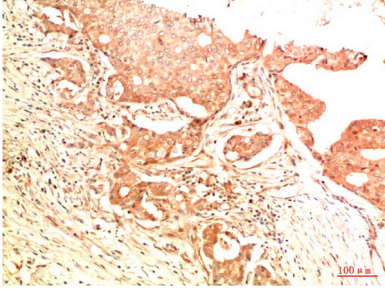
核タンパク質である腫瘍タンパク質 p53 は、細胞周期の制御、特に G0 期から G1 期への移行において重要な役割を果たします。正常細胞では非常に低濃度で存在しますが、様々な形質転換細胞株では高発現しており、形質転換および悪性化に寄与すると考えられて

います。p53はDNA結合タンパク質であり、DNA結合、オリゴマー形成、および転写活性化ドメインを有します。

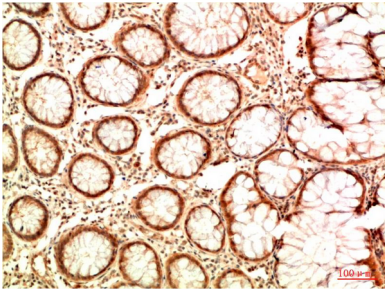
研究分野

細胞生物学

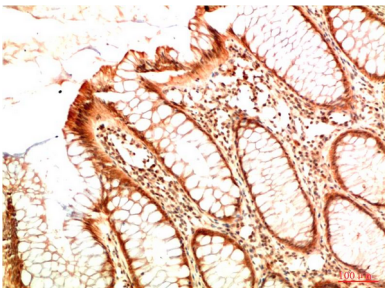
画像データ



アセチル p53 (Lys382) (7E1) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アセチル p53 (Lys382) (7E1) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アセチル p53 (Lys382) (7E1) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。